

概 況

1 取扱高

(1) 総取扱高

平成8年中における東京都中央卸売市場花き部の開場日数は、北足立市場306日、大田市場311日、板橋市場273日、葛西市場は311日で、前年より北足立市場は2日減、大田市場、板橋市場、葛西市場は、それぞれ3日、17日、89日増となった。なお、葛西市場は平成7年4月14日開場のため、前年開場日数は222日である。

総取扱実績は数量については、部類によって単位が違うので算出できないが、金額は778億8534万4千円を示した。この金額を前年と比較すると8.1% (58億2003万6千円)の増加となった。また、1日当たりの取扱高についてみると金額は、2億5659万5千円で前年と比較すると2.7% (680万9千円)の増加という実績を示した。

(2) 部別取扱高

①切花 総取扱数量は8億371万5千本、金額は503億1627万8千円となり、前年と比べると数量は7.7% (5720万2千本)、金額は4.2% (20億3696万9千円)の増加となった。平均価格は63円。

②切葉 総取扱数量は5876万9千枚、金額は17億6703万円となり、前年と比べると数量は10.4% (554万1千枚)、金額は16.9% (2億5582万9千円)の増加となった。平均価格は30円。

③切枝 総取扱数量は1488万束、金額は36億5477万4千円となり、前年と比べると数量は0.6% (8万4千束)の減少、金額は6.2% (2億1185万3千円)の増加となった。平均価格は246円。

④鉢花 総取扱数量は2529万9千鉢、金額は81億9028万円となり、前年と比べると数量は25.0% (505万3千鉢)、金額は17.0% (11億9291万5千円)の増加となった。平均価格は324円。

⑤らん鉢 総取扱数量は209万6千鉢、金額は46億2655万5千円となり、前年と比べると数量は19.4% (34万鉢)、金額は14.7% (5億9467万2千円)の増加となった。平均価格は2208円。

⑥観葉植物 総取扱数量は859万鉢、金額は46億955万2千円となり、前年と比べると数量は11.2% (86万5千鉢)、金額は6.6% (2億8575万5千円)の増加となった。平均価格は537円。

⑦観賞樹 総取扱数量は297万6千鉢、金額は16億8847万1千円となり、前年と比べると数量は26.7% (62万7千鉢)、金額は27.2% (3億6096万9千円)の増加となった。平均価格は567円。

⑧苗物 総取扱数量は181万6千箱、金額は25億3454万7千円となり、前年と比べると数量は36.8% (48万9千箱)、金額は47.1% (8億1208万円)の増加となった。平均価格は1395円。

⑨その他花き 総取扱数量は94万箱、金額は4億6595万4千円となり、前年と比べると数量は346.5% (72万9千箱)の増加、金額は17.4% (6899万5千円)の増加となった。平均価格は496円。

(3) 市場別取扱高

①北足立市場

総取扱金額は、132億9487万円で前年と比べると2.9% (4億364万2千円)の減少となった。類別にみると切花の数量は1億4111万4千本で前年比2.2% (323万6千本)、金額は87億8961万7千円で前年比6.4% (6億108万5千円)で、共に減少した。平均価格は62円。切葉の数量は1033万8千枚で前年比5.9% (64万8千枚)、金額は3億1075万7千円で前年比0.9%

(291万8千円)で、共に減少した。平均価格は30円。切枝の数量は、404万2千束で前年比1.3% (5万2千束)の増加、金額は6億7408万9千円で前年比6.7% (4871万6千円)の減少となった。平均価格は167円。鉢花の数量は425万5千鉢で前年比11.1% (42万7千鉢)、金額は14億6519万6千円で前年比7.3% (9933万5千円)で、共に増加した。平均価格は344円。らん鉢の数量は44万5千鉢で前年比19.0% (7万1千鉢)、金額は8億2937万7千円で前年比4.9% (3844万円)で、共に増加した。平均価格は1865円。観葉植物の数量は114万4千鉢で前年比6.0% (6万5千鉢)の増加、金額は5億6206万4千円で前年比0.3% (154万9千円)の減少となった。平均価格は491円。観賞樹の数量は52万8千鉢で前年比12.4% (5万8千鉢)、金額は3億241万9千円で前年比15.6% (4078万9千円)で、共に増加した。平均価格は572円。苗物の数量は22万6千箱で前年比9.3% (1万9千箱)、金額は3億1259万6千円で前年比26.3% (6506万8千円)で、共に増加した。平均価格は1383円。その他花きの数量は5万3千箱で前年比13.5% (6千箱)、金額は4875万4千円で前年比16.7% (699万4千円)で、共に増加した。平均価格は923円。

②大田市場

総取扱金額は、422億7077万8千円で前年比5.6% (22億5167万8千円)の増加となった。類別にみると切花の数量は3億9751万本で前年比5.8% (2164万8千本)、金額は259億4890万8千円で前年比3.0% (7億5015万1千円)で、共に増加した。平均価格は65円。切葉の数量は2846万7千枚で前年比9.1% (238万2千枚)、金額は9億3963万5千円で前年比17.0% (1億3632万9千円)で、共に増加した。平均価格は33円。切枝の数量は700万9千束で前年比9.1% (58万2千束)、金額は19億4415万1千円で前年比5.7% (1億469万2千円)で、共に増加した。平均価格は277円。鉢花の数量は1396万4千鉢で前年比14.8% (180万5千鉢)、金額は45億1932万4千円で前年比8.8% (3億6700万円)で、共に増加した。平均価格は324円。らん鉢の数量は116万7千鉢で前年比4.5% (5万鉢)、金額は27億6046万円で前年比7.2% (1億8602万3千円)で、共に増加した。平均価格は2366円。観葉植物の数量は589万2千鉢で前年比5.6% (31万2千鉢)、金額は32億6533万2千円で前年比2.1% (6761万2千円)で、共に増加した。平均価格は554円。観賞樹の数量は184万1千鉢で前年比20.9% (31万8千鉢)、金額は10億2241万3千円で前年比21.3% (1億7921万9千円)で、共に増加した。平均価格は555円。苗物の数量は118万8千箱で前年比29.4% (27万箱)、金額は16億1408万9千円で前年比33.8% (4億765万7千円)で、共に増加した。平均価格は1359円。その他花きの数量は6万7千箱で前年比25.9% (1万4千箱)、金額は2億5646万6千円で前年比26.0% (5299万4千円)で、共に増加した。平均価格は3803円。

③板橋市場

総取扱金額は、124億3066万7千円で前年比4.4% (5億2039万円)の増加となった。類別にみると切花の数量は1億6685万1千本で前年比3.1% (498万1千本)、金額は101億9687万7千円で前年比2.3% (2億2868万8千円)で、共に増加した。平均価格は61円。切葉の数量は1123万2千枚で前年比6.3% (66万6千枚)、金額は2億9624万円で前年比15.8% (4050万1千円)で、共に増加した。平均価格は26円。切枝の数量は253万1千束で前年比28.8% (102万5千束)の減少、金額は7億616万1千円で前年比6.5% (4336万7千円)の増加となった。平均価格は279円。鉢花の数量は180万6千鉢で前年比33.0% (44万8千鉢)、金額は5億3879万6千円で前年比19.7% (8882万円)で、共に増加した。平均価格は298円。らん鉢の数量は10万8千鉢で前年比36.9% (2万9千鉢)、金額は3億628万8千円で前年

比24.9% (6108万2千円)で、共に増加した。平均価格は2849円。観葉植物の数量は36万2千鉢で前年比21.2% (6万3千鉢)、金額は1億8988万9千円で前年比17.3% (2800万円)で、共に増加した。平均価格は525円。観賞樹の数量は8万2千鉢で前年比29.8% (1万9千鉢)、金額は5682万2千円で前年比30.3% (1322万3千円)で、共に増加した。平均価格は691円。苗物の数量は5万8千箱で前年比37.3% (1万6千箱)、金額は7407万6千円で前年比39.1% (2084万1千円)で、共に増加した。平均価格は1276円。その他花きの数量は6万3千箱で前年比455.8% (5万2千箱)の増加、金額は6551万9千円で前年比5.9% (413万円)の減少となった。平均価格は1036円。

④ 葛西市場

総取扱金額は、98億5712万6千円で前年比53.9% (34億5161万1千円)の増加となった。類別にみると切花の数量は9824万本で前年比52.5% (3380万9千本)、金額は53億8087万6千円で前年比44.6% (16億5921万5千円)で、共に増加した。平均価格は55円。切葉の数量は873万1千枚で前年比56.2% (314万1千枚)、金額は2億2039万9千円で前年比59.2% (8191万8千円)で、共に増加した。平均価格は25円。切枝の数量は129万9千束で前年比31.0% (30万7千束)、金額は3億3037万4千円で前年比51.6% (1億1251万円)で、共に増加した。平均価格は254円。鉢花の数量は527万3千鉢で前年比81.8% (237万3千鉢)、金額は16億6696万3千円で前年比62.0% (6億3776万円)で、共に増加した。平均価格は316円。らん鉢の数量は37万7千鉢で前年比101.1% (18万9千鉢)、金額は7億3042万9千円で前年比73.4% (3億912万7千円)で、共に増加した。平均価格は1940円。観葉植物の数量は119万3千鉢で前年比55.3% (42万5千鉢)、金額は5億9226万6千円で前年比47.9% (1億9169万2千円)で、共に増加した。平均価格は497円。観賞樹の数量は52万5千鉢で前年比79.3% (23万2千鉢)、金額は3億681万6千円で前年比71.3% (1億2773万8千円)で、共に増加した。平均価格は585円。苗物の数量は34万4千箱で前年比114.0% (18万4千箱)、金額は5億3378万7千円で前年比148.0% (3億1851万5千円)で、共に増加した。平均価格は1549円。その他花きの数量は75万6千箱で前年比664.2% (65万7千箱)、金額は9521万5千円で前年比16.0% (1313万7千円)で、共に増加した。平均価格は126円。

(4) 卸売業者別取扱高

① (株)第一花き

総取扱金額は、100億6932万1千円で前年比1.6% (1億6716万4千円)の減少となった。類別にみると、切花の数量は1億887万6千本で前年比0.6% (71万1千本)、金額は71億7711万円で前年比4.3% (3億1928万円)で、共に減少した。平均価格は66円。切葉の数量は762万4千枚で前年比4.7% (37万8千枚)、金額は2億3437万円で前年比1.2% (296万5千円)で、共に減少した。平均価格は31円。切枝の数量は270万2千束で前年比10.9% (26万5千束)の増加、金額は4億9959万6千円で前年比4.5% (2339万円)の減少となった。平均価格は185円。鉢花の数量は256万6千鉢で前年比15.6% (34万6千鉢)、金額は9億3938万2千円で前年比10.5% (8943万9千円)で共に増加した。平均価格は366円。らん鉢の数量は24万2千鉢で前年比23.3% (4万6千鉢)、金額は4億9916万7千円で前年比5.3% (2490万3千円)で、共に増加した。平均価格は2061円。観葉植物の数量は60万鉢で前年比1.5% (9千鉢)の増加、金額は2億8145万5千円で前年比3.3% (966万7千円)の減少となった。平均価格は469円。観賞樹の数量は31万7千鉢で前年比12.2% (3万5千鉢)、金額は1億9228万8千円で前年比18.4

% (2985万円)で、共に増加した。平均価格は606円。苗物の数量は15万箱で前年比8.1% (1万1千箱)、金額は2億416万8千円で前年比24.2% (3978万3千円)で、共に増加した。平均価格は1361円。その他花きの数量は3万4千箱で前年比18.8% (5千箱)、金額は4178万5千円で前年比11.1% (416万2千円)で、共に増加した。平均価格は1230円。

② (株)東京花き

総取扱金額は、32億2554万9千円で前年比6.8% (2億3647万9千円)の減少となった。類別にみると切花の数量は3223万7千本で前年比7.3% (252万6千本)、金額は16億1250万7千円で前年比14.9% (2億8180万5千円)で、共に減少した。平均価格は50円。切葉の数量は271万4千枚で前年比9.1% (27万枚)の減少、金額は7638万7千円で前年比0.1% (4万7千円)の増加となった。平均価格は28円。切枝の数量は134万束で前年比13.7% (21万3千束)、金額は1億7449万3千円で前年比12.7% (2532万6千円)で、共に減少した。平均価格は130円。鉢花の数量は169万鉢で前年比5.0% (8万1千鉢)、金額は5億2581万4千円で前年比1.9% (989万6千円)で、共に増加した。平均価格は311円。らん鉢の数量は20万3千鉢で前年比14.3% (2万5千鉢)、金額は3億3021万1千円で前年比4.3% (1353万7千円)で、共に増加した。平均価格は1631円。観葉植物の数量は54万4千鉢で前年比11.6% (5万6千鉢)、金額は2億8060万9千円で前年比3.0% (811万7千円)で、共に増加した。平均価格は516円。観賞樹の数量は21万1千鉢で前年比12.6% (2万4千鉢)、金額は1億1013万2千円で前年比11.0% (1093万9千円)で、共に増加した。平均価格は522円。苗物の数量は7万6千箱で前年比11.7% (8千箱)、金額は1億842万7千円で前年比30.4% (2528万5千円)で、共に増加した。平均価格は1425円。その他花きの数量は1万9千箱で前年比5.0% (1千箱)、金額は696万9千円で前年比68.5% (283万2千円)で、共に増加した。平均価格は369円。

③ (株)大田花き

総取扱金額は、235億1794万2千円で前年比3.2% (7億4014万3千円)の増加となった。類別にみると切花の数量は2億9127万本で前年比4.5% (1252万1千本)、金額は192億6710万7千円で前年比1.9% (3億6567万9千円)で、共に増加した。平均価格は66円。切葉の数量は1923万2千枚で前年比12.7% (216万3千枚)、金額は6億6088万1千円で前年比26.6% (1億3902万8千円)で、共に増加した。平均価格は34円。切枝の数量は453万5千束で前年比10.5% (43万3千束)、金額は12億5747万円で前年比5.2% (6170万6千円)で、共に増加した。平均価格は277円。鉢花の数量は224万6千鉢で前年比7.3% (15万2千鉢)、金額は8億3116万4千円で前年比6.4% (5004万8千円)で、共に増加した。平均価格は370円。らん鉢の数量は23万5千鉢で前年比9.3% (2万鉢)、金額は8億123万2千円で前年比6.7% (5058万3千円)で、共に増加した。平均価格は3411円。観葉植物の数量は68万鉢で前年比2.3% (1万6千鉢)の減少、金額は2億9282万3千円で前年比0.3% (88万7千円)の増加となった。平均価格は431円。観賞樹の数量は13万6千鉢で前年比0.2% (2百鉢)の減少、金額は1億1108万4千円で前年比13.2% (1295万3千円)の増加となった。平均価格は819円。苗物の金額は1億9360万9千円で前年比36.2% (5150万3千円)で、共に増加した。平均価格は1326円。その他花きの数量は3万2千箱で前年比3.0% (1千箱)の減少、金額は1億257万1千円で前年比8.2% (775万8千円)の増加となった。平均価格は3249円。

④(株)フラワーオークションジャパン

総取扱金額は、187億5283万6千円で前年比8.8% (15億1153万5千円)の増加となった。類別にみると切花の数量は1億624万1千本で前年比9.4% (912万8千本)、金額は66億8180万円で前年比6.1% (3億8447万3千円)で、共に増加した。平均価格は63円。切葉の数量は923万5千枚で前年比2.4% (21万9千枚)の増加、金額は2億7875万4千円で前年比1.0% (269万9千円)の減少となった。平均価格は30円。切枝の数量は247万4千束で前年比6.4% (14万9千束)、金額は6億8668万円で前年比6.7% (4298万6千円)で、共に増加した。平均価格は278円。鉢花の数量は1171万9千鉢で前年比16.4% (165万2千鉢)、金額は36億8816万円で前年比9.4% (3億1695万3千円)で、共に増加した。平均価格は315円。らん鉢の数量は93万2千鉢で前年比3.4% (3万1千鉢)、金額は19億5922万8千円で前年比7.4% (1億3544万1千円)、共に増加した。平均価格は2102円。観葉植物の数量は521万2千鉢で前年比6.7% (32万8千鉢)で、金額は29億7250万9千円で前年比2.3% (6672万5千円)で、共に増加した。平均価格は570円。観賞樹の数量は170万5千鉢で前年比23.0% (31万8千鉢)、金額は9億1132万9千円で前年比22.3% (1億6626万7千円)で、共に増加した。平均価格は535円。苗物の数量は104万2千箱で前年比31.7% (25万1千箱)、金額は14億2048万円で前年比33.5% (3億5615万4千円)で、共に増加した。平均価格は1364円。その他花きの数量は3万6千箱で前年比70.6% (1万5千箱)、金額は1億5389万4千円で前年比41.6% (4523万6千円)で、共に増加した。平均価格は4290円。

⑤(株)東日本花き

総取扱金額は、71億3596万7千円で前年比10.0% (6億4577万8千円)の増加となった。類別にみると切花の数量は8881万1千本で前年比9.0% (736万9千本)、金額は54億7868万9千円で前年比7.8% (3億9469万2千円)で、共に増加した。平均価格は62円。切葉の数量は586万8千枚で前年比11.2% (58万9千枚)、金額は1億6283万7千円で前年比25.4% (3293万2千円)で、共に増加した。平均価格は28円。切枝の数量は157万1千束で前年比8.9% (15万4千束)の減少、金額は3億7359万1千円で前年比7.3% (2542万6千円)の増加となった。平均価格は238円。鉢花の数量は180万鉢で前年比33.0% (44万7千鉢)、金額は5億3740万3千円で前年比19.8% (8897万6千円)で、共に増加した。平均価格は299円。らん鉢の数量は9万6千鉢で前年比38.3% (2万7千鉢)、金額は2億3650万4千円で前年比25.3% (4768万1千円)で、共に増加した。平均価格は2471円。観葉植物の数量は36万1千鉢で前年比21.0% (6万3千鉢)、金額は1億8978万5千円で前年比17.3% (2796万9千円)で、共に増加した。平均価格は526円。観賞樹の数量は8万1千鉢で前年比29.7% (1万9千鉢)、金額は5617万5千円で前年比30.3% (1307万6千円)で、共に増加した。平均価格は690円。苗物の数量は5万8千箱で前年比37.2% (1万6千箱)、金額は7396万9千円で前年比39.3% (2086万9千円)で、共に増加した。平均価格は1275円。その他花きの数量は5千箱で前年比18.3% (1千箱)の増加、金額は2701万3千円で前年比17.8% (584万4千円)の減少となった。平均価格は5398円。

⑥(株)板橋花き

総取扱金額は、52億9470万円で前年比2.3% (1億2538万8千円)の減少となった。類別にみると切花の数量は7804万本で前年比3.0% (238万8千本)、金額は47億1818万7千円で前年比3.4% (1億6600万4千円)で、共に減少した。平均価格は60円。切葉の数量は536万5千枚で前年比1.5% (7万7千枚)、金額は1億3340万3千円で前年比6.0% (756万8千円)で、共に増加した。平均価格は25円。切枝の数量は95万9千束で前年比47.6% (87万2千束)の減少、金

額は3億3257万円で前年比5.7% (1794万1千円)の増加となった。平均価格は347円。鉢花の数量は6千鉢で前年比18.7% (1千鉢)の増加、金額は139万3千円で前年比10.1% (15万7千円)の減少となった。平均価格は220円。らん鉢の数量は1万2千鉢で前年比26.0% (2千鉢)、金額は6978万4千円で前年比23.8% (1340万円で、共に増加した。平均価格は5909円。観葉植物の数量は977鉢で前年比151.8% (589鉢)、金額は10万3千円で前年比42.2% (3万1千円)で、共に増加した。平均価格は106円。観賞樹の数量は745鉢で前年比37.5% (203鉢)、金額は64万7千円で前年比29.4% (14万7千円)で、共に増加した。平均価格は868円。苗物の数量は41箱で前年比412.5% (33箱)の増加、金額は10万6千円で前年比21.0% (2万8千円)の減少となった。平均価格は2592円。その他花きの数量は5万8千箱で前年比714.7% (5万1千箱)、金額は3850万6千円で前年比4.7% (171万3千円)で、共に増加した。平均価格は661円。

⑦(株)葛西花き

総取扱金額は、53億6512万2千円で前年比49.1% (17億6597万5千円)の増加となった。類別にみると切花の数量は6785万9千本で前年比50.4% (2273万8千本)、金額は39億1422万4千円で前年比44.8% (12億1182万9千円)で、共に増加した。平均価格は58円。切葉の数量は539万4千枚で前年比37.8% (148万1千枚)、金額は1億4651万4千円で前年比47.2% (4695万5千円)で、共に増加した。平均価格は27円。切枝の数量は55万6千束で前年比11.6% (5万8千束)、金額は1億9965万5千円で前年比50.6% (6710万5千円)で、共に増加した。平均価格は359円。鉢花の数量は164万4千鉢で前年比155.0% (99万9千鉢)、金額は4億9782万7千円で前年比84.6% (2億2811万1千円)で、共に増加した。平均価格は303円。らん鉢の数量は7万1千鉢で前年比51.2% (2万4千鉢)、金額は2億51万4千円で前年比47.7% (6478万5千円)で、共に増加した。平均価格は2810円。観葉植物の数量は47万9千鉢で前年比87.5% (22万4千鉢)、金額は2億1236万4千円で前年比58.7% (7857万9千円)で、共に増加した。平均価格は443円。観賞樹の数量は12万1千鉢で前年比88.5% (5万7千鉢)、金額は6099万8千円で前年比62.2% (2340万1千円)で、共に増加した。平均価格は502円。苗物の数量は2万4千箱で前年比164.6% (1万5千箱)、金額は6349万9千円で前年比220.1% (4366万4千円)で、共に増加した。平均価格は2615円。その他花きの数量は75万2千箱で前年比676.3% (65万5千箱)、金額は6952万8千円で前年比2.3% (154万6千円)で、共に増加した。平均価格は92円。

⑧(株)江戸川花き

総取扱金額は、44億9200万3千円で前年比60.1% (16億8563万6千円)の増加となった。類別にみると切花の数量は3038万1千本で前年比57.3% (1107万1千本)、金額は14億6665万2千円で前年比43.9% (4億4738万5千円)で、共に増加した。平均価格は48円。切葉の数量は333万7千枚で前年比99.1% (166万1千枚)、金額は7388万5千円で前年比89.8% (3496万3千円)で、共に増加した。平均価格は22円。切枝の数量は74万3千束で前年比50.7% (25万束)、金額は1億3071万8千円で前年比53.2% (4540万5千円)で、共に増加した。平均価格は176円。鉢花の数量は362万9千鉢で前年比60.9% (137万4千鉢)、金額は11億6913万7千円で前年比53.9% (4億964万9千円)で、共に増加した。平均価格は322円。らん鉢の数量は30万5千鉢で前年比117.9% (16万5千鉢)、金額は5億2991万6千円で前年比85.6% (2億4434万2千円)で、共に増加した。平均価格は1736円。観葉植物の数量は71万4千鉢で前年比39.2% (20万1千鉢)、金額は3億7990万2千円で前年比42.4% (1億1311万3千円)で、共に増加した。平均価格は532円。観賞樹の数量は40万3千鉢で前年比76.7% (17万5千鉢)、金額は2億4581万8千円で前年比73.7% (1億433万7千円)で、共に増加した。平均価格は610円。苗物の数量は32万箱で前年比110.9% (16万8千箱)、金額は4億7028万8千円で前年比140.6% (2億7485万1千円)で、共に増加した。平均価格は1469円。その他花きの数量は4千箱で前年比102.8% (2千箱)、金額は2568万7千円で前年比82.2% (1159万1千円)で、共に増加した。平均価格は6084円。

2 月別市況

1月

【切花】

取扱数量は、前月比26.0%減、前年比20.6%増であった。

平均価格は、前月比13.0%安、前年比15.5%安となった。

前半は12月の冷え込みが厳しかった影響と降水量不足で出荷遅れとなっていたものまで含め、潤沢な入荷となり、相場は弱保合となった。後半は若干少なめな入荷となったが、引き合いが弱く保合で推移した。主力品目別では、輪菊は特に白色が入荷増となり全体的には弱保合。小菊は出荷遅れがあったが上位等級のみ引き合い強く安定した。カーネーションは前半は弱保合だったが、後半プライダル需要に支えられ活発な取引となった。スターチス類は安定した入荷が続いたことから安定相場となった。

【鉢物】

取扱数量は、前月比22.8%減、前年比31.0%増であった。

平均価格は、前月比46.2%安、前年比11.6%安となった。

初市から今一つの市況でスタートしたが、低温続きで小売の店先も渋って、全般的に軟調市況で推移した。この時期寒さに強い春物球根類のチューリップ・ヒアシンス・水仙は活発な取引が見られた。主力品目別では、ポトスは入荷少なく、ヘゴ鉢は安定したものの吊り鉢は軟調。プリムラ類は量的に多く、先月から飽きが来たのか人気薄く弱保合で推移した。

2月

【切花】

取扱数量は、前月比5.9%増、前年比13.0%増であった。

平均価格は、前月比6.7%高、前年比1.5%安となった。

厳寒期の2月は入荷は順調なものの、1月からの荷動きの悪さを引きずり、特に土曜、日曜の降雪が市況を鈍らせ相場は保合いとなった。寒さに弱い洋花類のなかには大きく値を下げる物もあった。主力品目別では、輪菊は潤沢な入荷があったが、葬儀需要が少なく全体的には弱保合。小菊は前半出荷少なく高値推移となり、引き合いの強いまま終始した。カーネーションはスプレーを除き、大きな動きが無かった。かすみ草は安定した入荷が続いたことから中値相場となった。

【鉢物】

取扱数量は、前月比22.1%増、前年比39.3%増であった。

平均価格は、前月比11.0%安、前年比5.6%安となった。

入荷状況は良く安定していたが、全体的に小鉢の動きが活発で、堅調市況で推移した。苗物は天候、雪の影響が大きく相場の足を引

張った。主力品目別では、ポトスはヘゴ鉢が好調だったものの吊り鉢は軟調。ペゴニアは品質にばらつきが多く、幅がある相場となった。シンビジウム、ファレノプシスは弱保合で推移した。

3月

【切花】

取扱数量は、前月比64.7%増、前年比8.7%増であった。

平均価格は、前月比3.1%安、前年比1.6%高となった。

3月は、卒業式、彼岸等の業務需要により引き合いが強くなり強保合の市況となった。主力商品別では、この時期引き合いの強い菊類は一時的にだぶつき単価を下げたが、下旬には逆に品不足となり単価を上げた。カーネーション、スイトピーは卒業式等の需要により堅調市況となった。

【鉢物】

取扱数量は、前月比35.4%増、前年比39.6%増であった。

平均価格は、前月比6.7%高、前年比1.7%安となった。

全体的に、入荷は順調で相場は安定していたが、下旬に入り鉢花、苗物は引き合いが強くなり、強保合の市況となった。主力商品別では、ポトスのヘゴ鉢は安定、吊りは日により幅のある相場となった。ファレノプシスは中旬以降品不足気味となり強含みとなった。

4月

【切花】

取扱数量は、前月比29.6%減、前年比22.2%増であった。

平均価格は、前月比4.8%高、前年比3.2%高となった。

4月は、入学式等各種イベントに支えられ洋花類を中心に安定した市況となった。主力商品別では、輪菊は全体的に弱保合であったが、色物は品薄高であった。カーネーションは全体的に弱保合の市況であったが、下旬に入り母の日需要により相場が上げ始めた。デルフィニューム、アルストロメリアは需要は安定していたものの、暖かさが増すにつれ入荷がだぶつき市況は低迷した。

【鉢物】

取扱数量は、前月比8.5%増、前年比20.5%増であった。

平均価格は、前月比16.9%高、前年比7.3%高となった。

4月前半の低温の影響により全体的に出遅れたが、観葉大鉢及び家庭向けの小鉢、苗物が活発な動きをみせ堅調市況となった。主力商品別では、ポトスはヘゴ鉢、吊りとも好調。ファレノプシスは全体的に低調であったが、下旬に入り母の日に向けて需要が高まり相場が上がった。ペゴニアは小鉢から大鉢まで引合い強く堅調市況となった。

5月

【切花】

取扱数量は、前月比9.3%増、前年比3.7%増であった。
平均価格は、前月比6.2%安、前年比9.0%安となった。

5月は、前半は母の日需要及び気温上昇に伴う入荷増により活発な動きをみせた。後半は、入荷順調であったものの母の日需要の終わりとともに動きは鈍り低調相場となった。主力商品別では、輪菊は白系は潤沢な入荷のため軟調、赤・黄系は逆に品薄高となった。カーネーション、宿根かすみ草は、母の日需要により好調であったが、母の日の後も品物が出続けたため後半は低調相場となった。

【鉢物】

取扱数量は、前月比2.8%増、前年比13.0%増であった。
平均価格は、前月比1.2%高、前年比0.2%高となった。

全体的に、切花類と同様、母の日を境に相場は堅調から低調へと推移した。しかし、苗物については花壇苗の植え替え需要のためか一月を通して引き合いが強く堅調な相場を維持した。主力商品別では、ポトスは良品は好調であったがその他は苦戦。ファレノブシスは単品、寄せ共に凡調。ペゴニアは母の日までは好調、その後やや品薄感があったが弱含み。

6月

【切花】

取扱数量は、前月比23.1%減、前年比2.9%減であった。
平均価格は、前月、前年ともに同額となった。

入荷は、暖地から高冷地への産地切替えのため、品目によって過不足が生じたものの例年どおり順調であった。

市況は、中旬に梅雨入り及び気温上昇で需要が鈍り全体的に価格低迷したが、総じて品目によりまちまちの相場となった。主力商品別では、輪菊は入荷少なく高値で推移。スターチス類は前半は暖地物と高冷地物が重なり安値、後半は高冷地物だけとなり回復した。

【鉢物】

取扱数量は、前月比19.5%減、前年比22.7%増であった。
平均価格は、前月比6.1%安、前年比12.9%安となった。

6月は、苗物を中心に安定した入荷となった。市況は、観葉が堅調となったものの、5月の買い疲れ及び梅雨入りのためか中元商品の荷動きが悪く全体的にも引合いが弱く低調であった。主力商品別では、ファレノブシスは潤沢な入荷であったが軟調。あじさいはブルー、ピンク系は強保合いも白系は弱保合いであった。

7月

【切花】

取扱数量は、前月比26.1%増、前年比7.9%増であった。
平均価格は、前月同額、前年比8.9%高となった。

入荷は、各品目とも産地切り替えが一段落したこともあり、一月を通し順調であった。市況は、前半は7月盆需要による引合いが強く品薄感から強保合いの相場となった。しかし、後半は盆需要終了及び猛暑による買い控えのため低迷した。主力商品別では、輪菊、小菊ともに前半は盆需要により強保合い、後半、長野産が出揃い潤沢感のため保合。りんどうは、岩手産の遅れが影響し入荷が大幅減、一月を通し強含み。

【鉢物】

取扱数量は、前月比28.9%減、前年比6.3%増であった。
平均価格は、前月比12.0%高、前年比0.4%高となった。

入荷は、前半は順調であったが、後半は鉢花を中心に減少した。市況は、中元シーズンを迎え堅調な相場であったが、後半に入り中元需要終了後、猛暑による買い控えのため弱保合いとなった。主力商品別では、らん類は、例年並の入荷も高温による品痛みが見られたが、中元用の上位等級を中心に堅調。ペゴニア、日々草も後半品薄高で堅調。

8月

【切花】

取扱数量は、前月比7.3%減、前年比10.5%増であった。
平均価格は、前月比13.1%安、前年比14.5%安となった。

入荷は、旧盆需要向けの菊類、とくに小菊が多く、例年に比べ潤沢な入荷となった。市況は、旧盆の仏花類は引き合い強かったもののそれを上回る入荷のため弱保合。一方、洋花類は一月を通し安定した入荷で保合の相場となった。主力商品別では、輪菊、小菊ともに入荷だぶつき、去年に比べ平均価格を20円程下げるなど弱保合。りんどうは、7月からの入荷遅れが続き、旧盆まで品薄高となった。

【鉢物】

取扱数量は、前月比18.5%減、前年比31.0%増であった。
平均価格は、前月比11.7%安、前年比4.2%安となった。

入荷は、例年に比べ多いもののらん類などのギフト商品、苗物は良好な取引。鉢花は旧盆明けから保合。観葉は一月を通して弱含み。主力商品別では、らん類、スパティフィラムはサマーギフト商品として引き合い強く品薄高。ぼさぎくなどの菊類は下旬から入荷始まりこれから本格的な需要期を迎える。

9月

【切花】

取扱数量は、前月比23.6%増、前年比7.8%増であった。

平均価格は、前月同様、前年比20.9%安となった。

入荷は、先月に引き続き彼岸向けの仏花である菊類、とくに小菊の多さが目立ったものの、ゆり類が少なく全体的に例年よりやや多い入荷となった。市況は上中旬の彼岸需要があったものの入荷がだぶついた菊類、りんどうは荷動きが悪く不振。とくに小菊の価格低下が著しかった。今月の主力商品である仏花のほとんどが荷がだぶつき単価を下げたが、ゆり類は比較的入荷が少ないうえ、彼岸需要も手伝って堅調な動きを見せた。

【鉢物】

取扱数量は、前月比45.4%増、前年比18.1%増であった。

平均価格は、前月比6.6%安、前年比13.4%安となった。

入荷は、8月の益明け以降の好天に恵まれ増大した。市況は、涼しい気候、敬老の日需要により鉢花、らん鉢及び苗物といった、いわゆる花物を中心に好調であったが、中旬以降、週末毎の台風の影響を受けらん鉢を除いたほとんどの品目が低調な相場となった。ポトス、菊類は下旬の冷込みとともに低調。ファレノプシスは一月を通し好調を維持した。

10月

【切花】

取扱数量は、前月比28.9%減、前年比2.2%減であった。平均価格は、前月比28.3%高、前年比7.9%高となった。

今月は東北、北海道などの高冷地から暖地への切替え時期にあたるため少ない入荷となった。市況は、婚礼、宴会などの業務需要が旺盛なうえ、入荷が少なかったため洋花類を中心に品薄高となった。主力商品別では、菊類は品薄に加え上位等級の引合いが強く堅調。カーネーションは、スプレーカーネーションに人気が集まり品薄高となった。

【鉢物】

取扱数量は、前月比24.3%増、前年比17.1%増であった。平均価格は、前月比6.1%高、前年比3.0%安となった。

入荷は、年末にシーズンを迎える商品を中心に潤沢な入荷となった。市況は、前半は入荷が多い割には荷動きがよく好調であったが、後半は一転して引合いが弱まり低迷した。主力商品別では、シクラメンは色組がはっきりしたもの及びミニシクラメンに人気集中。ファレノプシスは、一月を通して引合い強く堅調な相場であった。

11月

【切花】

取扱数量は、前月比1.8%減、前年比11.5%増であった。平均価格は、前月比1.5%高、前年比10.4%安となった。

今月は、先月に引き続き高冷地から暖地への産地切替え時期にあたる。暖地もの出遅れが若干みられたものの全体的には潤沢な入荷となった。市況は、婚礼、宴会などの業務需要が旺盛であったが小売店がいまひとつであったために弱保合の相場となった。主力商品別では、菊類は大幅な入荷増（前年比17%増）のため全面安。カーネーション、ガーベラ及びフリージアは業務需要に支えられ保合で推移した。

【鉢物】

取扱数量は、前月比0.8%減、前年比16.2%増であった。平均価格は、前月比30.4%高、前年比6.1%安となった。

入荷は、シクラメン、ポインセチアなど年末商品を中心に潤沢な入荷となった。市況は、前半こそ品ぞろえ、ギフト向け需要による引き合いが強かったものの、一段落した中旬以降、全体的に振るわず単価安となった。

12月

【切花】

取扱数量は、前月比28.2%増、前年比1.2%減であった。平均価格は、前月比10.1%高、前年比10.1%高となった。

12月は、松・千両市、クリスマス及び年末年始と一年のうち一番活況を呈す月である。入荷は、昨年並であったが、需要が旺盛であったため品薄感強く全体的に高めの市況となった。主力商品別では、菊類は、前半は安値で推移したが24日以降反発し高騰した。カーネーション、チューリップは中旬より赤系を中心に強保合。水仙は、潤沢な入荷で弱保合であったが後半持ち直した。松は一月を通し市況低迷、千両は沖縄産の入荷減の影響により品薄高となった。

【鉢物】

取扱数量は、前月比1.4%減、前年比17.3%増であった。平均価格は、前月比24.3%高、前年比9.8%安となった。

入荷は、鉢花で前年比15.5%増となるなど全体的に潤沢であった。市況は潤沢な入荷及び高値商品の需要が伸びないなど全体的に安めの相場となった。主力商品別では、シクラメン、ポインセチアは前半だぶつき気味で荷動きが悪かったが、後半から持ち直しやや強めの相場となった。